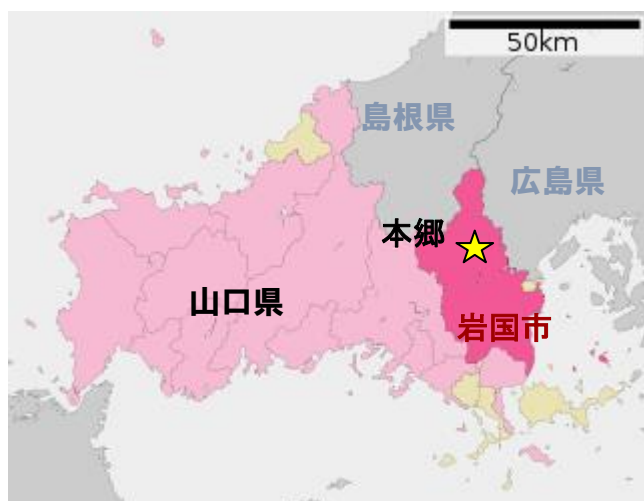


岩国市立本郷小学校とは・・・

★岩国市立本郷小学校は、明治5年に学制が
発布される前の慶応2年（1866年）、本郷
の建立寺に山代小学校として創立されたこと
を発端とし、平成28年（2016年）に創
立150年を迎えた歴史の長い学校です。



★本校区のある岩国市本郷町は、かつて玖珂
郡本郷村でした。本郷村には4つの小学校
（西黒沢小、本谷小、波野小、本郷小）がありましたが、過疎化の中で統廃合が進み、現在
では、本郷小1つに統合されています。平成18年に本郷村は近隣市町村の合併により、
岩国市本郷町となりました。



《位置》

★岩国市本郷町は、山口県の北東部に位置
し、西は旧錦町、南は旧美川町、東は旧美
和町に隣接する総面積 40.45 k²の静かな
山村です。本校は、本郷支所等官公庁があ
る町の中心部を占める標高 220mの本郷低
地にあり、西は成君寺山、東は美和山、北
は羅漢山、南は上田山に囲まれた谷底平野
です。年間の気候は温暖ですが、夏から秋
にかけて霧が深く、冬は寒さが厳しいとこ
ろです。



《本郷の歴史》

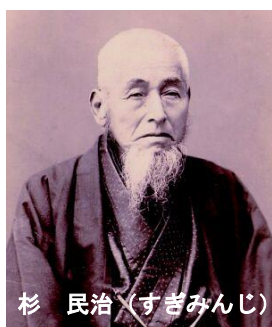
★岩国市本郷町（旧玖珂郡本郷村）の歴史は古く、大化の改新後の郷里制では、玖珂郡九郷一駅のうち大野郷に属し、その中心であったといわれます。

★関ヶ原の戦い後の藩政時代（江戸時代）には、萩毛利藩の直轄地（山代6万石）となり、ここ本郷（現在の本郷小学校敷地内）に勘場（かんば＝代官所）が置かれ、山代（やましろ）地域の政治・経済・文化の中心地として繁栄しました。また、紙の原料である楮（こうぞ）が盛んに栽培され、紙漉き業が盛んに行なわれ、その紙は品質もよく、「山代紙」として高値で取引され、萩本藩の経済を支えたと言われています。

このように、本郷は古くから山代地域の中心として栄えたところで、その誇りが住民感情として現在も生きています。



本郷歴史民俗資料館・・・山代代官所（別
やましろかんば
名山代勘場）の門を復元し、本校の隣に設
立されています。本校の学校だより『かんば』
の名前の由来です。



杉 民治（すぎみんじ）

NHK大河ドラマ『花燃ゆ』では、ネプチューンの原田泰造さんが演じました。

明治時代が始まる2年前に本校が設立されますが、このころ山代最後の代官（区長）として、吉田松陰の兄、杉民治が本郷（岩国市本郷町）で任に当たったことも有名です。

当時庶民の暮らしは困窮していましたが、民治は人々の嘆願を聞き入れ、地元戸長の三分一健作らと共に水路を造り、田畑を開拓、生活・防火用水を確保しました。それにより人々の暮らしは特段に向上したと言われております。

水路は今も、本郷地区の街中を勢いよく流れています。



街のゴミ集めをする本郷小児童。水路は街のいたるところで流れています。

《本郷小学校の昔の写真》

★右の写真①は、本校に残る最も古い本校の写真です。1921年（大正10年）ころの撮影と思われます。当時の校舎は、現在の校舎の二代前の旧旧校舎です（写真②）。



写真②

明治42年（1909年）
新築された旧旧校舎

校庭にそびえたつモミの木が学校のシンボルでした。



写真①

★右の写真③は、戦後にできた校舎で、現在より一代前の校舎です。

この当時、本郷村には4000人前後の人口がありましたが、昭和30年代後半からの都市への人口集中の波に押され、急速に人口が減り始めます（過疎化）。



人口減少の歯止め対策として、羅漢山の開発に力を入れたり、道路網の整備による沿岸都市部への行程を短縮したりすることによって、過疎からの脱却を図ってきました。また、農林業の振興・特産品の奨励等にも力を入れ、うるおいと活力のある地域づくりへの取組が行われ、今日まで続いています。

しかし、人口減は続いており、現在は岩国市本郷町として世帯数511世帯、人口は869人（2017年4月1日現在）となっています。

《本郷山村留学センター》

★昭和62年度（1987年）から本郷村では、村の持つ自然環境の良さを教育に取り込んだ山村留学制度をスタートさせました。平成28年には30周年を迎え、現在も全国各地から集まった小学生が毎年10名以上入所し、本校に通学しています。



親元から離れる寂しさや苦勞を乗り越え、すばらしい環境の中での集団生活や様々な体験活動を通して、心身ともに見違えるように成長する留学生の姿を毎年見ることができます。

本校は、この山村留学センターと連携をとりながら教育活動を進めており、本郷小・中学校の寄宿舎として教員が舎監（宿直）に当たっています。

（なお、山村留学センターについてのお問い合わせは、直接山村留学センターにしてください。）

《現在の本郷小学校》

★平成25年度にコミュニティ・スクールに指定され、地域の学校としての発展をめざしています。学校では地域の人材・教材を活かした授業や諸活動を行っており、遠足や田植え、相撲大会、森林学習、稲刈り、餅つき、しめ縄作り、スキー教室、弁論大会等々、毎年特色のある行事が盛り沢山です。

また、小規模学校の特色を生かし、一人ひとりを大切に、輝かせる教育をめざし実践しています。

★平成28年度には、岩国市小中一貫教育推進事業のモデル校に指定され、本郷小・中学校が施設隣接型の小中一貫校となることをめざし、現在その取組を行っています。

児童数は減少しましたが、愛郷・愛校の心を育て、大きな夢・志を胸に抱いて、誇り高くたくましく自立し生き抜いていく子どもを育成することをめざし、地域と共に進んで参りたいと思います。

★平成29年度4月現在、全校児童は28名（5学級）です。うち、山村留学生は17名です。



創立150年記念学習発表会(平成28年11月26日)

多くの地域の方々が見守ってくださる中で、全員で一輪車の演技を披露し成功した瞬間です。
一輪車の経験のない留学センターの子も一緒になって演技の成功をめざして毎年取り組んでいます。